

学校だより青南

4月号

令和4年4月6日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



スタート

校長 野口 直樹

3月24日には、79名の卒業生が、青南小学校での6年間の学びを終え、一人一人が希望を胸に抱き中学校へと巣立っていったと前任の関 校長先生より聞きました。そして、校庭の桜、花壇の花たちも色とりどりに咲く中、令和4年度が始まりました。期待に胸をふくらませ、目をきらきらと輝かせた1年生124名を迎え、青南小学校は21学級、全校児童634名でのスタートです。

私は、前任の関 幸治校長の後を引き継ぎ、4月1日付で青南小学校長に着任いたしました野口 直樹（のぐち なおき）と申します。目黒区の東山小学校より参りました。「いつでもどこでも青南の子」というこの校風を守り、皆様の期待に添えるよう努力して参ります。

子どもたちは、本来、もっとよくなりたい、もっと知りたい、という「〇〇〇たい」の気持ちにあふれていると考えております。その子どもたちの気持ちに寄り添い、実現していくのが教師の役目だと考え、私自身、担任として副校長としてこれまで教育活動に取り組んでまいりました。そうすることで、子どもたちは、時に大人の想像をはるかに超えた成長を見せることがあります。子どもたちの中にある、伸びたいと思う気持ちを大切に、誠実に子供と向き合うチーム青南となるよう取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策により、様々な教育活動が制限される中ですが、かわりを大切にして教育活動を行ってまいります。新型コロナウイルスは、私たちに改めて気付かせてくれたのが、人は人の中で育つということです。自分と違う様々人とかかわりを持ち、様々な感じ方や考え方を知り、人間関係を築いていくことができる力は、正に社会を生き抜いていく本当の意味での生きる力だと考えます。そこで、これまで青南小学校の教育活動のキャッチフレーズである「人間力」+「人間関係形成・社会参画・自己実現」+「自分自身にありがとう」=「いつでも どこでも 国際人青南の子」として継続していきます。そして、本校の学校教育目標〇よく考える子 〇思いやりのある子 〇体をきたえる子をうけ、「心身共に健康で国際社会で信頼される人間の育成」「互いに認め合い、高め合いながら 学力の向上 豊かな心の育成 健康な体作り」を保護者・地域の皆様とお力をお借りしながら連携し進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の終息は、未だ道半ばです。引き続き対策として、今年度も、手洗いを励行していきます。昨年度同様、中休み・昼休み後に手洗いタイムを設け確実に行ってまいります。ご家庭でも、ご協力をお願いします。

新しい学力観に立った教育活動は、今年で3年目を迎えます。予測が困難な未来を生きる子どもたちの生きる力を身に付けさせるために、教職員一同、真心を込めて、誠実に子どもたちとむき合い、力を合わせて教育活動を行ってまいります。保護者・地域の皆様のお力添えいただきますようお願いいたします。

4月の生活目標

【気持ちのよいあいさつをしよう】

生活指導主任

「あいさつ」には、①儀礼的な「あいさつ」②エチケットとしての「あいさつ」③コミュニケーションとしての「あいさつ」の3つの種類があると言われています。小学校ではどの種類のあいさつも学校生活の中で経験し、学び、身に付けていきますが、青南小学校では本年度もコミュニケーションとしての「あいさつ」を大切にしていきたいと思います。人との関わりは「あいさつ」から始まり段々と深まっていきます。新学期を素敵なあいさつがあふれる生活を送ってスタートできたらと思います。

新型コロナウイルス感染症対策により、大きい声を十分に出不せない中ですが、気持ちのこもったあいさつを交わし、「あいさつと笑顔あふれる青南小」の伝統を引き継ぎ、豊かな心を育てていきます。

心と体の健康を考える

養護教諭

入学・進級おめでとうございます。春風が心地よく希望あふれる春を迎え、青南小学校の新学期が始まりました。

4月から6月にかけて、定期健康診断を実施します。健康診断は現在のからだの様子を知り、学校生活を元気に過ごすためのものです。加えて、発育状況を知ることで自分の成長を実感し、自分や周りの人をより大切に思うきっかけにもなると考えています。

児童の心身の健康増進のために、御家庭の皆様にご協力いただきながら教職員一同、学校保健活動を行っていかれたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

